

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要等により緩やかな回復の兆しがみられた一方で、欧州や中国などの海外経済減速を受けて景気後退の懸念が拡大するなど、予断を許さない先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境の下、当社グループの事業概況といたしましては、「航空関連事業」・「メディア・ライフサービス事業」において、航空機部品の販売、退役航空機の取扱や不動産関連における施設管理業務などの減少により、売上高は前年実績を下回りました。一方で、海外の連結子会社における事業改廃に伴う費用減やたな卸資産の販売などが影響し、営業利益では前年実績を上回る結果となりました。

「リテール事業」・「フーズ・ビバレッジ事業」においては、空港店舗関連や免税店向け卸売が引き続き好調に推移し、売上高は前年実績を上回りました。一方で、水産関連は低調に推移し、贈答用食品関連や連結子会社の事業投資による費用増などが影響し、営業利益では前年実績を下回る結果となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は41,428百万円（対前年同期比98.8%）となりました。損益では、営業利益664百万円（対前年同期比119.9%）、経常利益678百万円（対前年同期比119.1%）、四半期純利益392百万円（対前年同期比203.1%）となりました。

連結業績 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成23年4～9月)	当第2四半期 (平成24年4～9月)	前期比 (%)	前期差
売上高	41,918	41,428	98.8	△489
営業利益	553	664	119.9	110
経常利益	569	678	119.1	108
四半期純利益	193	392	203.1	199

[セグメント別の概況]

セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。なお、各業績数値は、グループ内セグメント間売上高及び振替高、配賦不能営業費用（管理部門の費用など）調整前の金額です。

① 航空関連事業

航空機関連では、航空機部品の販売や退役航空機の取扱が減少し低調に推移しました。機材・調達関連では、空港向け機材販売は堅調に推移しましたが、機内用品などの調達業務の収入減により低調に推移しました。一方で、海外連結子会社の事業改廃に伴う費用減やたな卸資産の販売などが影響し、利益は増加しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高8,670百万円、営業利益606百万円と、それぞれ減収・増益となりました。

航空関連事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成23年4～9月)	当第2四半期 (平成24年4～9月)	前期比 (%)	前期差
売上高	9,221	8,670	94.0	△550
営業利益	304	606	199.1	301

② メディア・ライフサービス事業

保険関連では、*保険代理店BPO業務拡大などにより堅調に推移しました。一方で、不動産関連では、開発分譲業務は拡大しましたが、施設管理業務の減少により低調に推移しました。また、メディア関連では、用紙販売は堅調に推移しましたが、印刷物などの販売が減少し低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高4,810百万円、営業利益470百万円と、それぞれ減収・減益となりました。

*保険代理店BPO(Business Process Outsourcing)業務：個人向け保険業務の一環である顧客サービス業務（契約手続きやコールセンター業務など）の一部を受託する事業

メディア・ ライフサービス事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成23年4～9月)	当第2四半期 (平成24年4～9月)	前期比 (%)	前期差
売上高	5,220	4,810	92.2	△409
営業利益	537	470	87.5	△67

③ リテール事業

空港店舗関連では、旅客需要回復などにより好調に推移し、ブランド・免税関連でも、機内販売および免税店向け卸売がともに好調に推移しました。通信販売関連では、売上高は順調に推移し費用減により利益は改善しました。一方で、贈答用食品関連では、コンビニエンスストア向けの販売は順調に推移しましたが、費用増により低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では、売上高21,820百万円、営業利益586百万円と、それぞれ増収・増益となりました。

リテール事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成23年4～9月)	当第2四半期 (平成24年4～9月)	前期比 (%)	前期差
売上高	19,572	21,820	111.5	2,248
営業利益	271	586	216.3	315

④ フーズ・ビバレッジ事業

農産関連では、西洋野菜や輸入生花などの販売が堅調に推移し、ワイン関連では、高額ワインを中心にホテル・レストラン向け業務用卸売が順調に推移しました。一方で、水産関連では、引き続き市場環境の変化が影響し低調に推移しました。また、連結子会社の日本エアポर्टデリカ株式会社は、当第2四半期以降市場拡大を図りましたが、事業投資による費用増が影響し低調に推移しました。

これらの結果、セグメント合計では売上高6,451百万円、営業損失24百万円と、それぞれ減収・減益となりました。

フーズ・ビバレッジ事業 (金額単位：百万円)	前第2四半期 (平成23年4～9月)	当第2四半期 (平成24年4～9月)	前期比 (%)	前期差
売上高	8,150	6,451	79.2	△1,698
営業利益 (△損失)	413	△24	—	△438

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産負債及び純資産の状況

(総資産)

売掛金は航空機部品取引の大口の入金により減少しました。また、たな卸資産は、日本航空株式会社の旧訓練所関連の施設・設備の売却、及び国内の販売用不動産の売却により減少しました。

その結果、総資産は前連結会計年度末と比較して3,293百万円減少し、30,409百万円になりました。

(負債)

買掛金は航空機部品取引の仕入代金の支払いにより減少し、借入金は返済により減少しました。その結果、負債合計は前連結会計年度末と比較して3,214百万円減少し、16,113百万円になりました。

(純資産)

剰余金の配当を行いました。四半期純利益を計上したため利益剰余金は増加しました。一方、自己株式の取得や少数株主持分の減少により純資産は前連結会計年度末と比較して79百万円減少し、14,296百万円になりました。また、自己資本比率は4.6ポイント増加し、43.5%になりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末と比較して318百万円増加し、5,703百万円になりました。

各キャッシュ・フローの内容につきましては、以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

仕入債務が減少したものの、税金等調整前四半期純利益に加え、売上債権やたな卸資産が減少しました。その結果、営業活動により獲得した資金は3,481百万円（前年同四半期より1,298百万円増加）になりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

前年度に設立した食料品製造業の子会社において、購入した固定資産代金の支払いを行いました。また、空港免税店の改装及び拡張による固定資産代金の支払いや入居保証金の支払いを行いました。その結果、投資活動により使用した資金は704百万円（前年同四半期は109百万円の資金の獲得）になりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

配当金の支払いや借入金の返済を行った結果、財務活動により使用した資金は2,459百万円（前年同四半期より1,100百万円増加）になりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年4月27日公表の通期業績予想を据え置いています。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算方法)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微です。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,391,474	5,714,974
受取手形及び売掛金	9,615,259	6,588,424
たな卸資産	5,919,467	4,957,259
その他	3,148,931	3,615,097
貸倒引当金	△68,984	△71,283
流動資産合計	24,006,148	20,804,472
固定資産		
有形固定資産	5,118,360	5,124,669
無形固定資産	405,358	368,785
投資その他の資産	4,091,363	4,038,149
固定資産合計	9,615,082	9,531,603
繰延資産	81,698	73,127
資産合計	33,702,929	30,409,204
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,572,728	7,096,331
短期借入金	3,025,994	1,297,136
未払法人税等	286,390	439,538
未払費用	1,796,380	2,147,129
その他	3,045,764	2,952,032
流動負債合計	16,727,258	13,932,167
固定負債		
長期借入金	1,202,029	836,829
退職給付引当金	411,248	471,914
役員退職慰労引当金	33,225	8,000
その他	953,363	864,162
固定負債合計	2,599,866	2,180,905
負債合計	19,327,125	16,113,073
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,558,550	2,558,550
資本剰余金	711,250	711,250
利益剰余金	10,811,239	11,012,942
自己株式	△68,191	△147,089
株主資本合計	14,012,848	14,135,653
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,685	△11,744
繰延ヘッジ損益	27,730	△9,089
為替換算調整勘定	△919,112	△872,103
その他の包括利益累計額合計	△899,067	△892,937
新株予約権	9,882	9,882
少数株主持分	1,252,141	1,043,532
純資産合計	14,375,804	14,296,130
負債純資産合計	33,702,929	30,409,204

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	41,918,028	41,428,726
売上原価	32,878,216	31,993,053
売上総利益	9,039,811	9,435,673
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	566,446	655,008
給料及び手当	2,949,299	2,987,471
退職給付費用	239,222	228,780
減価償却費	299,672	217,159
賃借料	1,579,997	1,729,414
役員退職慰労引当金繰入額	2,480	△3,965
その他	2,848,749	2,957,494
販売費及び一般管理費合計	8,485,867	8,771,363
営業利益	553,944	664,310
営業外収益		
受取利息	5,219	5,518
受取配当金	4,438	17,082
持分法による投資利益	—	59,072
為替差益	100,890	—
仲介手数料	18,354	—
その他	43,743	32,095
営業外収益合計	172,647	113,768
営業外費用		
支払利息	62,865	24,778
持分法による投資損失	52,255	—
為替差損	—	40,944
支払手数料	27,320	23,530
その他	14,396	10,480
営業外費用合計	156,838	99,734
経常利益	569,754	678,343
特別利益		
固定資産売却益	2,141	1,608
特別利益合計	2,141	1,608
特別損失		
固定資産処分損	45,423	7,727
投資有価証券売却損	42,073	481
投資有価証券評価損	11,401	—
特別退職金	85,305	—
その他	5,239	1,376
特別損失合計	189,442	9,585
税金等調整前四半期純利益	382,453	670,366
法人税等	157,435	425,748
少数株主損益調整前四半期純利益	225,017	244,617
少数株主利益又は少数株主損失(△)	31,703	△148,012
四半期純利益	193,313	392,630

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	225,017	244,617
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,113	△2,480
繰延ヘッジ損益	△45,800	△36,819
為替換算調整勘定	△21,316	43,737
持分法適用会社に対する持分相当額	5,902	781
その他の包括利益合計	△55,100	5,218
四半期包括利益	169,916	249,836
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,808	398,760
少数株主に係る四半期包括利益	33,108	△148,923

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	382,453	670,366
減価償却費	359,095	316,008
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△50,220	1,749
退職給付引当金の増減額(△は減少)	62,437	60,681
受取利息及び受取配当金	△9,658	△22,600
支払利息	62,865	24,778
為替差損益(△は益)	10,492	6,026
持分法による投資損益(△は益)	52,255	△59,072
固定資産除売却損益(△は益)	43,281	6,118
投資有価証券売却損益(△は益)	42,073	481
売上債権の増減額(△は増加)	2,177,876	3,020,472
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,093,968	989,648
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,436,779	△1,523,909
前渡金の増減額(△は増加)	△351,556	△280,629
前受金の増減額(△は減少)	432,882	534,931
破産更生債権等の増減額(△は増加)	2,640	313
その他	△619,281	9,788
小計	2,254,825	3,755,153
利息及び配当金の受取額	18,112	30,879
利息の支払額	△68,847	△27,956
法人税等の支払額	△21,008	△276,606
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,183,082	3,481,469
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△63,445	△704,816
有形固定資産の売却による収入	2,821	1,871
無形固定資産の取得による支出	△65,115	△69,299
投資有価証券の取得による支出	△125	△4,130
投資有価証券の売却による収入	109	117,734
貸付けによる支出	△431	—
貸付金の回収による収入	99,689	43,200
定期預金の預入による支出	—	△4,707
長期差入保証金増加による支出	△108,758	△149,274
長期差入保証金減少による収入	253,560	69,866
その他	△8,798	△4,986
投資活動によるキャッシュ・フロー	109,505	△704,540

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	200,303	△1,590,336
長期借入れによる収入	—	32,000
長期借入金の返済による支出	△1,563,248	△537,170
少数株主からの払込みによる収入	98,000	—
配当金の支払額	△64,010	△190,778
少数株主への配当金の支払額	—	△60,000
その他	△30,018	△112,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,358,974	△2,459,059
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12,969	757
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	920,644	318,626
現金及び現金同等物の期首残高	5,999,315	5,384,667
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,919,959	5,703,293

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空関連事業	メディア・ラ イフサービス 事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	9,219,762	5,116,543	19,552,849	8,028,872	41,918,028	—	41,918,028
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,972	103,792	19,406	121,785	246,956	△246,956	—
計	9,221,734	5,220,336	19,572,255	8,150,658	42,164,985	△246,956	41,918,028
セグメント利益	304,454	537,688	271,170	413,919	1,527,232	△973,288	553,944

(注) 1. セグメント利益の調整額△973,288千円には、セグメント間取引消去△640千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△972,647千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損 益計算書計上 額(注2)
	航空関連事業	メディア・ラ イフサービス 事業	リテール事 業	フーズ・ビバ レッジ事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,614,026	4,723,995	21,813,355	6,277,348	41,428,726	—	41,428,726
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56,777	86,721	7,031	174,398	324,929	△324,929	—
計	8,670,804	4,810,717	21,820,387	6,451,747	41,753,656	△324,929	41,428,726
セグメント利益又は損失(△)	606,270	470,359	586,672	△24,533	1,638,767	△974,457	664,310

(注) 1. セグメント利益の調整額△974,457千円には、セグメント間取引消去643千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△975,100千円が含まれています。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。